

# 【プログラム17:未来予想S

## ～10年後の子どもとわたし～】

☆ねらい：自立に向けて成長していく子どもとともに、親も成長していこうとする気持ちを高める。

### 《プログラムの概要》

キーワードの例	10年後のわたし
時間	25分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ
準備物	ワークシート（使用しなくてもできる）
主な活動	①子どものこと、子どもとの関わりを振り返る。 ②これからの自分について考える。 ③グループの意見や感想を紹介する。
気を付けること	○10年後を考えると、あまりにも現実離れた考えだったら、その考えを認めながらも、現実的なことを考えるように声をかける。
備考 (アレンジ等)	○スマイル（小学生期）編プログラムNo17と本プログラムを用い、「これからの10年」をマインド曲線で表し、ねらいに迫る方法もある。
他プログラムとの関連	スマイル（小学生期）編プログラムNo17：子育てで広がる夢・喜び～子育ての歩みとこれから～

## 【プログラム17：未来予想S～10年後の子どもとわたし～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 <span style="float: right;">【1分】</span></p> <p>[キーワード] ○10年後のわたし</p>
22分	グループ	<p>2. 子どものこと、子どもとの関わりを振り返る。 <span style="float: right;">【5分】</span></p> <p>○ワークシートをもとに考える。</p> <p>3. これからの自分について考える。 <span style="float: right;">【17分】</span></p> <p>①10年後の自分や家族を想像する。</p> <p>②10年後、子どもにどうあってほしいか、そのために、今、親としてどう関わっていくか考える。</p> <p>③想像した10年後の自分に向けて、どうしていきたいか考える。</p> <p>④紹介する。</p>
2分	全体	<p>4. まとめ <span style="float: right;">【2分】</span></p> <p>[ポイント]</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">子どもは成長し自立していく。子どもの将来の姿を描くとともに、親も自分の将来の姿を描くことが大事である。そこから、今、親としてどう関わっていくのかを考えることが必要だ。</p>

〔 活 動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備 考 〕

1. ねらいの  
確認

○今日は、「10年後のわたし」をキーワードに講座を進めていきたいと思ひます。

・キーワードの提示。

2. 子どもの  
ことを振り返る

(ワークシート配付)

○まず初めに、子どもさんのことや子どもさんとのかわりについて振り返っていただきたいと思ひます。

ここ(ワークシート)に6つの項目があります。このことについて、自分はどうか、ということグループの人に紹介してください。

※時間がある場合は、何人かの例を紹介する。

・ワークシートを使用しない場合は、振り返りの視点を広用紙やプレゼンを使って提示する。

3. これからの  
自分を考える

○今から、次の3つのことについて想像したり考えたりしていただきたいと思ひます。

1点目は、10年後の自分や家族がどうしているかです。

2点目は、10年後、子どもにどうあって(なつて)ほしいか、そのために、今、親としてどう関わっていくか考えてください。

そして、3点目に、10年後の自分に向けて、どうしていきたいか考えてください。

最初、1人で考えていただいて、その後、グループで考えたことや想像したことを紹介してほしいと思ひます。(しばらく待つ)

グループで紹介しあつてください。3点のことの中から話しやすいことから話して構いません。

(しばらく待つ)(グループでどんなことが話題になっているか聞く)

・10年後を考えるとき、あまりにも現実離れした考えだったら、その考えを認めながらも、現実的なことを考えるように声をかける。

○グループで話題になったことやご自分の考えなどを紹介してください。

(1人が3点について意見を紹介してもいいし、どれか1つについて紹介してもいいようにすると話しやすい。)

・意見の紹介までの時間、グループで考えを出し合う時間を時々知らせると、参加者自身が見通しをもつことができ、効果的である。

#### 4. まとめ

○子どもは日々成長し、いつの日にか自立していきます。日々の生活の中で、子どもの10年後について考えることがあまりなかったかもしれません。しかし、子どもの将来の姿を描くとともに、その子どもの姿に向けて、今、親としてどうかかわっていくけばいいかを考えることも必要なことです。

また、今は子育て真っ最中だと思いますが、子どもが自立したときの自分のこと、自分の将来の姿を描くことも大事なことだと思います。

・過保護、過干渉、放任、親ばなれ、子ばなれ等の言葉から、親としての関わり方について考えることを、まとめとしてもよい。

【未来予想S ～10年後の子どもとわたし～ :ワークシート】

子どものこと、子どもとの関わりを振り返ろう！

1	子どもの友だちの名前が3人以上言える。
2	進路をどう考えているかわかる。
3	子どもと同じ話題で話せる。 (テレビ番組、芸能人、ニュース、スポーツ、学校のこと等)
4	学校でのことを話す。(自分から話す、聞いたら答える)
5	子どもの机の上を見たことがある。
6	授業参観や懇談会に参加する。

想像してみよう！

